

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) チイキセイサクガクブ	フリガナ) ワカバヤシタカヒサ
高崎経済大学	地域政策学部	若林 隆久ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) シーハン	フリガナ) ゴトウ ジュンイチ	3	無
C 班	後藤 潤一		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

研究テーマ (発表タイトル)

脱ストレス！～職場をもっと楽しくする実践型研修合宿の提案～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

現在、職場内のストレスによる退職が年々増え続けている。その職場ストレスの原因は上司・部下・同僚と自分との人間関係が問題である。実際にリクナビ NEXT の退職本音ランキングにも、「同僚や先輩と上手くいかなかった」「上司、経営者の仕事の仕方が気に入らなかった」というのが労働時間や環境の不満よりも高かったことが示されている。中でも、上司との関係が起因してストレスが溜まるケースが、男性女性ともに職場ストレスの 4 割を占めていることが、マンパワーグループ株式会社が行った調査に示されていた。

そこで私たちは職場内の人間関係の改善を目指し、よりよい職場の形成について考えた。その職場環境の改善を目指すうえで、その一例として大学生で目指す人が多い職業である『地方公務員』に焦点を当てた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

総務省の「平成 26 年度 地方公務員の退職状況等調査」によれば、定年退職、勸奨退職、早期退職制度による退職を除く、自己都合退職等の普通退職が全体の 29.9%を占めている。

また、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会の「地方公務員健康状況等の現状(平成 27 年度版)の概要」によれば、

「精神および行動の障害」による長期病休者数（10万人率）は13013人であり、全体に占める割合は平成24年度から50%を超えており年々増加傾向にある。このように、職場でストレスを感じて休業する地方公務員が多いため、地方公務員安全衛生推進協会ではストレスを溜めないようにできる職場づくりを目指した事業が行われている。

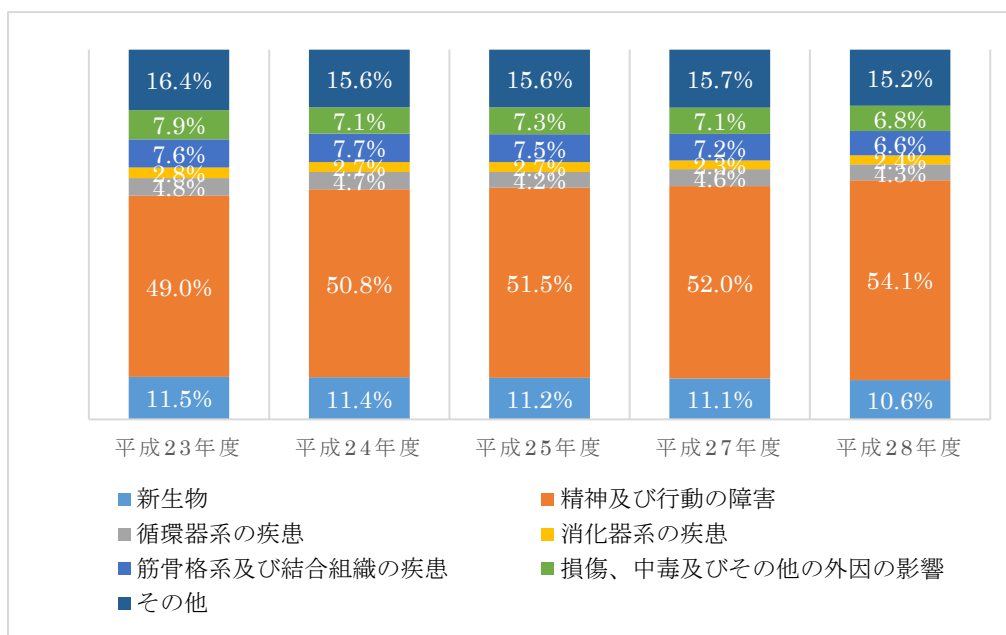


図2「長期病休者の疾病分類別構成比の推移」 出典：地方公務員安全衛生推進協会（平成27年度）

3. 研究テーマの課題

先述した通り、現在上司との関係によってストレスを抱える男性職員、女性職員がマンパワーグループ株式会社の「あなたがストレスと感じている原因をお選びください。」というグラフで全体の4割を占めていることが示されている。

地方公務員を取り巻く現状については「公務員からの転職はもったいない？実情から転職方法まで」という転職 Hacks を参照した。その中には「人間関係の閉塞感に疲れる」「思ったより激務である」「住民への対応にストレスを感じる」という3つの実情が記載されていた。この結果からも、上司との関係によってストレスを感じている地方公務員が存在していることが把握できる。中には、これらのストレスは「精神及び行動の障害」（うつ病等）に繋がる危険性もある。実際に、地方公務員安全衛生推進協会の資料にも全体の約5割の地方公務員が精神及び行動の障害になっているという現状が記されている。この現状を打破すべく、上司との人間関係の改善が早急に求められている。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

職場の人間関係の改善の為に、私達は1泊2日型の研修合宿を上司とその部下に対して行うことを提案した。この研修の目的は、セミナーやレッスンという受身ではなく、自らが主体性を持ってコミュニケーションを取ることで、職場内の人たちともう一度打ち解けあい、改めて自分たちの仕事についても共に考え、互いの立場を理解し今後のよりよい職場作りを目指すことである。また、職場とは違った特殊な環境で時間を共有することで、お互いに新たな一面を発見し、より密な関係を築き上げることが合宿として研修を行う意義である。

初日は、開会式の後10～15人の4チームに分かれてアイスブレイクとして運動会を行う。その後、夕食を済ませ初日の研修は終了とする。二日目は、初日の運動会で作ったグループで、職場の在り方や、より良い職場にするための解決策の思考や、施策提案をするグループワークを初めに行ってもらおう。その後、昼食休憩を挟み、午後はロールプレイング研修を行う。ロールプレイングとは、役割演技法とも呼ばれる訓練法である。今回は、上司役、部下役、評価役に分かれて頂き、上司・部下・住民のそれぞれの対応を普段とは違う立場で行うことによって、互いの立場を理解できるような研修として用いることにした。ロールプレイング研修の後には、レクリエーションとしてコミュニケーションゲームを行う。夕食ではさらに親睦を深めるためにバーベキューを行い2日間の研修を終了とする。これを実践することで、今後の職場環境を良好なものにすることが狙いである。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

公務員の実情についての3つのストレスから、どういった健康障害を引き起こすのかについて、地方公務員安全衛生推進協会にヒアリング調査を行った。調査の結果で分かったことは精神及び行動の障害が引き起こされやすく、こういった精神障害にかかる地方公務員が年々増加しているということの他に、職場づくりの研修やメンタルヘルス対策のセミナーの開催、専門家を呼んで職場環境アドバイザー事業の提案を現在行っているという事だ。地方公務員の健康状態を保つ為に、職場環境を少しでも良くしてこうという取り組みが日々行われていることが判明した。しかし、実践型の講座やセミナーが不足している為、根本的な課題の解決には至っていない事も判明した。また、平成28年度から設置された「メンタルヘルス対策の相談窓口」でメンタルヘルス対策のために必要な体制作りや計画策定の方法、ストレスチェックの実施方法について相談を受けているため、メンタルヘルス対策とストレスチェックの重要度が増加していることが判明した。

6. 結果や今後の取り組み

地方公務員安全衛生推進協会は、ストレスを感じないような職場づくりを目指して活動を行っていたが、実際に障害を起している人達に向けたプランニングについてはより考える余地があると語っていた。私たちが今回提案したプランニングもどこまで地方公務員の職場環境を改善できるのかは定かではない為、さらに職場環境改善の為のプランニングが必要である。より良いプランニングを提案しさらなる職場環境の改善を図っていきたくと考えている。

7. 参考文献

マンパワーグループ「勤務先で感じるストレスの調査」

http://www.manpowergroup.jp/navi/press/161028_001.htm

リクナビ NEXT「転職理由と退職理由の本音ランキング Best10」

<https://next.rikunabi.com/tenshokuknowhow/archives/4982/>

転職 Hacks「公務員からの転職はもったいない？実情から転職方法まで」

<https://ten-navi.com/hacks/article-2-9288>

地方公務員安全衛生推進協会（平成27年度）「長期病休者の疾病分類別構成比の推移」

<http://www.jalsha.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2016/12/overview2.pdf>

福田健「上司と部下 うまくいく心理学～コミュニケーションがラクになり仕事の効果が上がる」

日本実業出版社 1988年7月30日

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください